

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
芸術	美術Ⅲ	3	人文	選択	4
使用教科書 ・副教材等	美術3（光村図書出版株式会社）				
学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、美術体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 調査まで	1 絵画 (1) 木炭デッサン ・木炭の使い方・エスキース ・量感 ・質感、存在感 (2) 鉛筆デッサン ・鉛筆の使い方・エスキース ・色彩の調子 ・存在感	<ul style="list-style-type: none"> 対象を深く観察し、光と陰影、立体感を意識して表現の可能性を探りながら発想し、表現の構想を練る。 描画材による調子の違いについて理解し、効果的な表現形式の特性を生かした表現を追求する。 主題の意味、表現意図に応じて、表現方法を工夫・発展させ、表現形式特性を生かし表現を追求する。 造形的な美しさと個性的な表現を追求して発想し、構想を練る。 自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさの表現を追求する。
一学期期末 調査まで	(3) 選択デッサン ・量感と濃淡 ・質感、存在感 2 絵画 「油彩画」 ・主題設定と描画材の特性 ・色彩の幅と表現方法 ・マチエールの効果 ・鑑賞	
一学期中間 調査まで	3 鑑賞 ・芸術家の生涯 4 デザイン 「色彩構成」 ・創作プランと条件の考察 ・コンセプトに沿った構想 ・色彩の調和と伝達性 5 デザイン 「ポートフォリオ」 ・作品の見せ方 ・作品の精選	
一学期期末 調査まで		<ul style="list-style-type: none"> 作者が美術を通して人生や芸術をどのように追求したかを理解し、作品の模写を通して、作者の意図、表現テーマやコンセプト、表現の工夫について感じ取る。 デザインの目的や条件、技法等表現に関する諸条件について総合的に考察して発想し、創造的な表現の構想を練る。 主題の意味、表現意図に応じて、表現方法を工夫・発展させ、表現形式特性を生かし表現する。 作品の見せ方を考え、自己の作品を振り返るとともに、今後の表現方法について考えを深める。
学年末 調査まで	6 鑑賞 ・社会における美術の役割 ・現代美術の動向について ・美術との関わり方	<ul style="list-style-type: none"> 作者が制作を通して自己を追求したり、社会のメッセージを主張したりしていることを作品から感じ取り、それらに重ね合わせ、自己の在り方、生き方について考える。
評価 方法	<p>【関心・意欲・態度】出席状況や授業の態度、学習プリントの記述内容等で評価する。</p> <p>【発想や構想の能力】作品、制作等の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p> <p>【創造的な技能】作品、制作等の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p> <p>【鑑賞の能力】鑑賞活動の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p>	